

第41回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、2000年6月より四半期(3、6、9、12月)ごとに実施している調査。

業況判断指数 (diffusion index)は、各企業に業況を「良い」「さほど良くない」「悪い」のどれかで答えてもらい「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた指数。数値が高い程好景気と言える。

■ 今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2010年6月14日～2010年7月5日
3. 調査方法： F A Xにて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 65 社

2010年7月



調査結果のポイント

■ 全般的業況はマイナス 33.8 と前期より下げる

現況(2010年6月)の業況判断DI値は、マイナス 33.8 と前回のマイナス 29.0 から、4.8 ポイントの悪化となった。

見通し(3カ月後)については、マイナス 18.8 と現況より大きく数値を改善している。

<徐々に数値改善の大規模、見通しではプラス圏に>

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 37.0 と前回のマイナス 46.4 から 9.4 ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス 54.2 と前回のマイナス 28.0 から 26.2 ポイントの悪化。大規模事業者はDI値マイナス 13.8 と前回のマイナス 17.5 から 3.7 ポイントの改善となっている。

大規模事業者については、直近では 2009 年9月期のマイナス 36.7 を底に、規模別では唯一3期連続して数値を改善させてきている。2010 年9月期の見通しも、唯一プラス圏の 6.9 となっている。

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■ パチンコ現況は一段下げ、見通しでは数値回復

現況の稼働状況はマイナス 33.8 と、前回のマイナス 30.1 から 2.7 ポイントの悪化となった。

見通し(3カ月後)はマイナス 23.8 となっており、数値を 10 ポイント上げている。尚も低水準にとどまっはいるものの、7月に市場導入される「CR 北斗の拳 剛拳」をはじめとする内規変更前の MAX タイプ機や8月に市場導入予定の「ギンギラパラダイス2」や「水戸黄門2」など話題機種への期待が高いものと思われる。

■ 不振の4円、好調の低貸玉パチンコの構図続く

4円パチンコの現況の稼働状況はマイナス 52.5 と、前回のマイナス 27.8 から 24.7 ポイントの悪化と大きく数値を下げている。見通し(3カ月後)はマイナス 40.0 となっており、尚も低水準にとどまっている。

低貸玉パチンコの現況の稼働状況は 25.7 と、前回の 24.4 から 1.3 ポイント数値を上げている。見通し(3カ月後)は 25.7 となっており、横ばいとなっている。

■ 2期連続プラス圏と回復基調維持するパチスロ

現況の稼働状況は、28.8 と、前回の 12.9 から 15.9 ポイントの改善となっている。2010年3月期に引き続いでの数値改善で、2期連続してプラス圏での推移となっている。

「ジャグラーシリーズ」に加えて「新世紀エヴァンゲリオン～魂の奇跡～」、「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」などの定番機種が育ってきている効果が現れた2010年3月期にプラス圏に浮上以降も、ART機を中心として高稼働を維持する新台の導入が続いていることによる。

見通し(3カ月後)は、25.0 と、現況よりやや悪化を見込んでいる。

■ 「複数の貸玉料金採用店の8割で交換率に開きあり

複数の貸玉料金を採用する店舗で、パチンコまたはパチスロで貸玉料金に開きがある店舗の割合は8割を超えている。

複数の貸玉料金を採用する店舗で、交換率の変更を検討しているのは、54.4%と過半数に達している。「一物二価」問題を意識して交換率の変更を検討している場合、「高い交換率に揃える」が73.7%と7割にのぼっている。「低い交換率に揃える」は15.8%、「複数貸玉料金の廃止を検討」も10.5%存在している。

景況キーワード

■パチスロ好調の中、販売方法等に懸念も

「今よくなりつつパチスロの販売方法や台数等はよく考え、業界全体が伸びていくように後押しして欲しい。」や「今後の入替ではパチスロのウエイトが高まり、人気機種で購入格差が生まれ、購入出来ない店との稼働差がより明確となる。」など、メーカーの販売方法や購買力により店舗間格差拡大の要因ともなるとの懸念がもたれている。

■一物一価問題は受け止め方に開き

現実には貸玉料金ごとに交換率に開きのある状況が多く存在している。そうした中、「一物二価に関してはこれまで単に許容されていただけの事。」との意見がある一方、「一物一価は店舗の差別化の妨げになる。また、1円コーナーでは等価にすることで4円パチンコの客を奪うことになる。」や「一物一価(店舗内統一)になると、とても経営が苦しくなるのではと感じる。」との意見もあり、受けとめ方には開きがある。低貸玉コーナーが等価になることへの懸念の声も多い。

<主要指標 パチンコ業界全体>

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現況	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-29.0	-33.8	-18.8	 ⇨ 	現況は、雨から雷雨に。見通しは数値改善し雨。	
2. 稼働状況(パチンコ)	-30.1	-33.8	-23.8	 ⇨ 	現況は、引き続いて雷雨。先行き見通しは数値改善し雨。	
3. 稼働状況(パチスロ)	12.9	28.8	25.0	 ⇨ 	現況は数値を改善し薄曇りを維持。先行き見通しも薄曇り。	
4. 資本投入気運の変化(台)	-30.3	-13.8	-15.4	 ⇨ 	現況は雷雨から雨に。先行き見通しも雨のまま。	
5. 資本投入気運の変化(設備)	-10.6	-3.2	7.9	 ⇨ 	現況は数値を上げ雨から曇りに。見通しも曇り。	
6. 営業用設備の不足感	-15.1	-1.3	-3.8	 ⇨ 	設備不足感は数値を上げ雨から曇りに。見通しも曇り。	
7. 雇用人員の不足感	-4.8	7.5	7.5	 ⇨ 	人材不足感はやや改善。	

前回現況は2010年3月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
 晴れ	30.0~	 雨	-29.9~-10.0
 薄曇り	10.0~29.9	 雷雨	~-30.0
 曇り	-9.9~9.9		

全般的概要－業況

■業況判断DI値は前期より下げ、マイナス33.8と低い水準

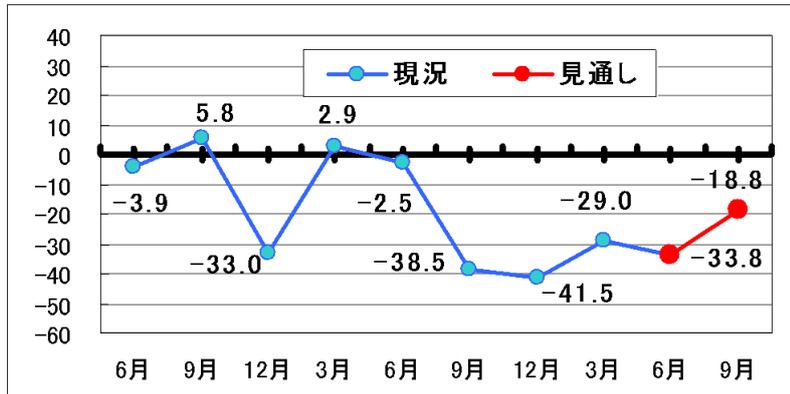
現況(2010年6月の業況判断)は「良い」が0.9ポイント減少して1.3%となり、「悪い」が3.8ポイント増加して35.0%となり、DI指数はマイナス33.8と前回のマイナス29.0から、4.8ポイントの悪化となった。

見通し(3カ月後)については、マイナス18.8と現況より大きく数値を改善している。

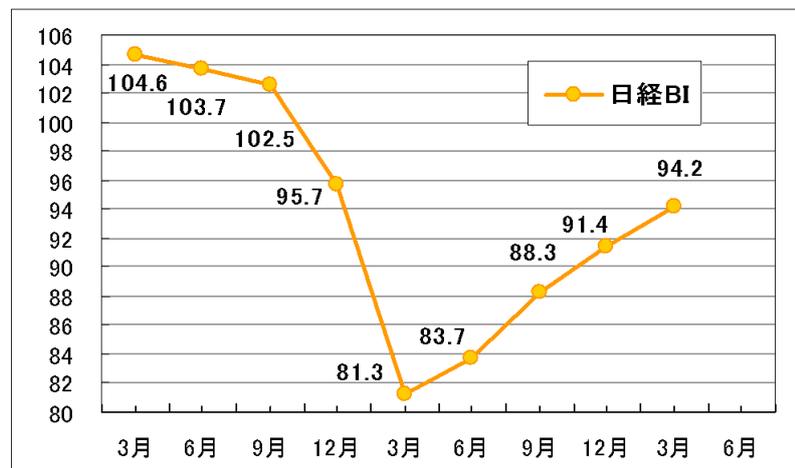
代表的な民間の景気動向指数である日経景気インデックス「日経BI」の5月速報値は94.2(2005年平均=100)となり前月水準から0.4ポイント低下した。

構成4指標のうち有効求人倍率を除く鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間の3指標が悪化した。求人動向についても、先行指標の新規求人数は減少しており、景気回復がスピード調整に入ったことが確認された。

<現況の推移と見通し>



<日経景気インデックスデータ(日経BI)>



※インデックスデータは、1-3月の平均を3月に示した。直近の6月は5月速報値。

日経景気インデックス(日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標(鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率)から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
BIはビジネス・インデックス(Business Index)の略。(2005年平均=100)

全般的概要－業況判断理由と経営上の課題

■悪業績の理由、『来店客数の減少』がその他の理由を大きく離す

業況判断を「悪い」(35.0%)と下した理由は、『来店客数の減少』が96.2%と他を大きく離している。

先行き(3カ月後まで)の業況判断理由では、『来店客数の減少』の47.1%と『客単価の減少』の41.2%で88.3%と約9割を占めている。

■『競争激化』、『人材教育・育成』、『遊技機販売』の上位3項目は、順位の変動はあるものの固定。

業績悪化理由で『来店客数の減少』が多くあげられていたことから分かるように、経営上の課題1位の『他の同業他社との競争激化』は、全体で前回より回答率が3.4ポイント上昇している。

『メーカーの遊技機販売の縛り』は全体では40.3%で3位となっている。事業者の規模別にみると、小規模事業者では、57.7%(1位)、中規模事業者では27.3%(4位)、大規模事業者では28.6%(同率4位)となっている。特に、小規模事業者にとっては、1位の『他の同業他社との競争激化』(50.0%)と合わせて大きな課題となっている。

■『人材不足・人材確保』が徐々に上昇など、3大課題に続く課題が上昇。

全体で4位の『設備・運営費の増加』と5位の『資金調達』の2項目は、前回より回答率を6～8ポイント前後上昇させている。

また、今回7位の『人材不足・人材確保』は12月(6.8%)、3月(13.2%)、6月(16.1%)と徐々に回答率を上げてきている。中でも大規模事業者では28.6%(同率4位)と高くなっている。

<経営上の課題>

項目	全体 (12月)	全体 (3月)	全体 (6月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
他の同業他社との競争激化	59.3%	51.5%	54.8%	50.0%	59.1%	57.1%
人材教育・育成	49.2%	52.9%	50.0%	42.3%	68.2%	35.7%
メーカーの遊技機販売の縛り	47.5%	36.8%	40.3%	57.7%	27.3%	28.6%
設備・運営費の増加	22.0%	20.6%	29.0%	19.2%	45.5%	21.4%
資金調達	22.0%	16.2%	22.6%	26.9%	22.7%	14.3%
不明瞭な行政指導	11.9%	23.5%	22.6%	19.2%	18.2%	35.7%
人材不足・人材確保	6.8%	13.2%	16.1%	11.5%	13.6%	28.6%
人件費の増加	11.9%	11.8%	14.5%	7.7%	18.2%	21.4%
公的な規制	15.3%	14.7%	14.5%	15.4%	4.5%	28.6%
時間帯・曜日などの客の偏り	20.3%	19.1%	14.5%	23.1%	9.1%	7.1%
組合の自主規制	3.4%	2.9%	3.2%	0.0%	0.0%	14.3%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

全般的概要－稼働状況

■パチンコ現況は一段下げ、見通しでは数値回復

現況の稼働状況はマイナス 33.8 と、前回のマイナス 30.1 から 2.7 ポイントの悪化となった。

見通し(3カ月後)はマイナス 23.8 となっており、数値を 10 ポイント上げている。尚も低水準にとどまっ
ているものの、7月に市場導入される「CR 北斗の拳 剛拳」をはじめとする内規変更前の MAX タイプ機や8
月に市場導入予定の「ギンギラパラダイス2」や「水戸黄門2」など話題機種への期待が高いものと思われ
る。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)がマイナス 33.3、中規模事業者(4～10
店舗)がマイナス 54.2、大規模事業者(11 店舗以上保有)がマイナス 17.2 となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は 13.1 ポイントの改善、中規模事業者は 22.2 ポイントの悪化、大規模
事業者は 0.3 ポイントの改善となっているが、中小規模事業者は尚も低水準にとどまっている。

■2期連続プラス圏と回復基調維持するパチスロ

現況の稼働状況は、28.8 と、前回の 12.9 から 15.9 ポイントの改善となっている。2010 年3月期に引き続い
ての数値改善で、2期連続してプラス圏での推移となっている。

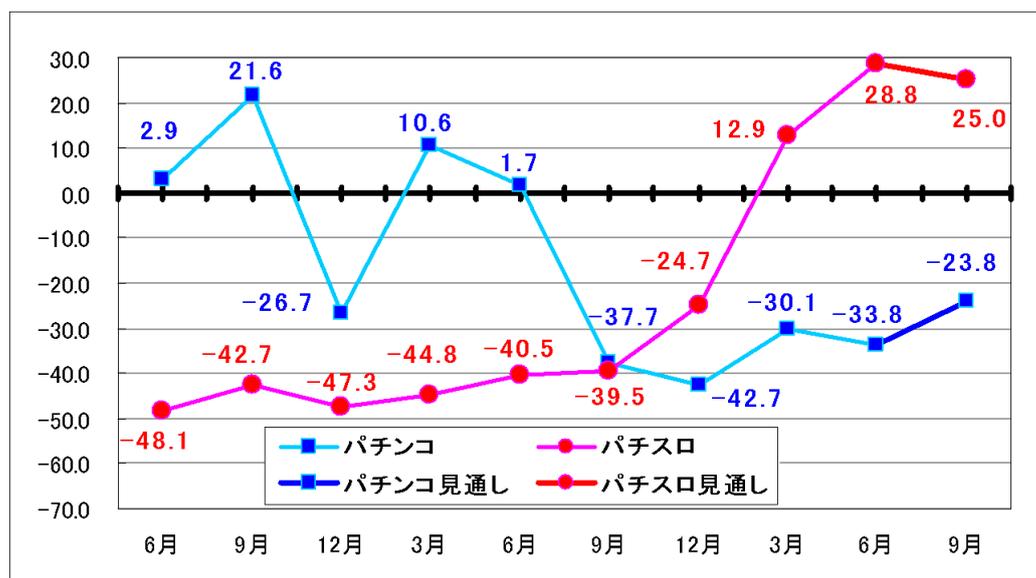
「ジャグラーシリーズ」に加えて「新世紀エヴァンゲリオン～魂の奇跡～」、「パチスロ交響詩篇エウレカセブ
ン」などの定番機種が育ってきている効果の現れた2010年3月期にプラス圏に浮上以降も、ART 機を中心
として高稼働を維持する新台の導入が続いていることによる。

見通し(3カ月後)は、25.0 と、現況よりやや悪化を見込んでいる。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)が 11.1、中規模事業者(4～10 店舗)が
20.8、大規模事業者(11 店舗以上保有)が 51.7 となっている。

前3月期と比べると、小規模事業者は 32.5 ポイントの改善、中規模事業者は 0.8 ポイントの改善、大規模事
業者は 19.2 ポイントの改善となっている。小規模事業者の大幅数値改善により、事業規模を問わずプラス
圏の数値となっている。

<稼働状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



■不振の4円、前期より大幅に数値を下げる

4円パチンコの現況の稼働状況はマイナス 52.5 と、前回のマイナス 27.8 から 24.7 ポイントの悪化と大きく数値を下げている。

見通し(3カ月後)はマイナス 40.0 となっており、尚も低水準にとどまっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)がマイナス 48.1、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス 62.5、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス 48.3 となっている。

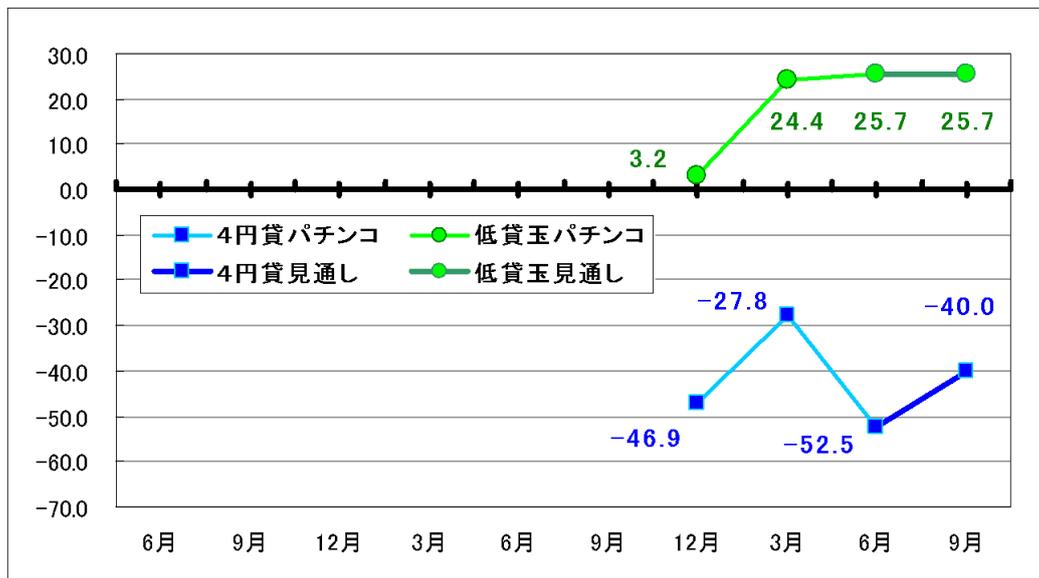
■好調を維持の低貸玉パチンコ

低貸玉パチンコの現況の稼働状況は 25.7 と、前回の 24.4 から 1.3 ポイント数値を上げている。

見通し(3カ月後)は 25.7 となっており、横ばいとなっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)が 28.6、中規模事業者(4~10店舗)が 5.0、大規模事業者(11店舗以上保有)が 37.9 となっている。

<稼働状況の推移と見通し(4円パチンコと低貸玉パチンコ)>



地域別の業況

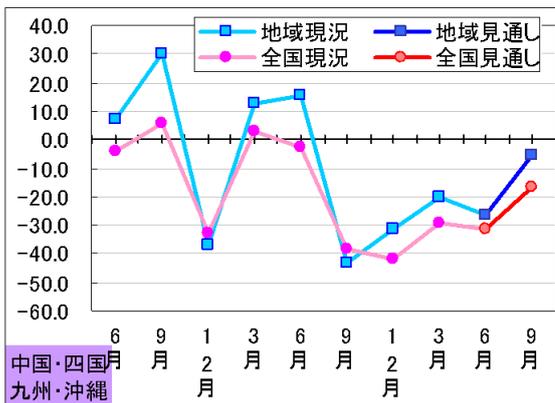
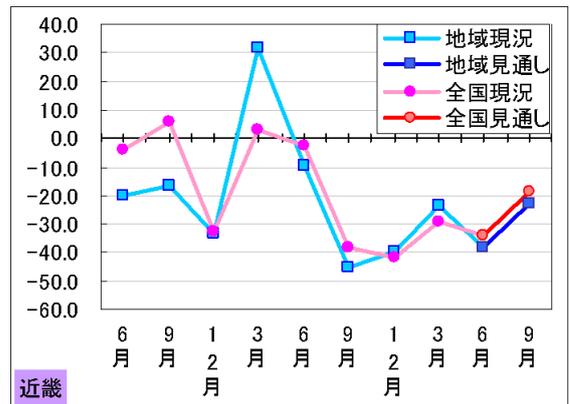
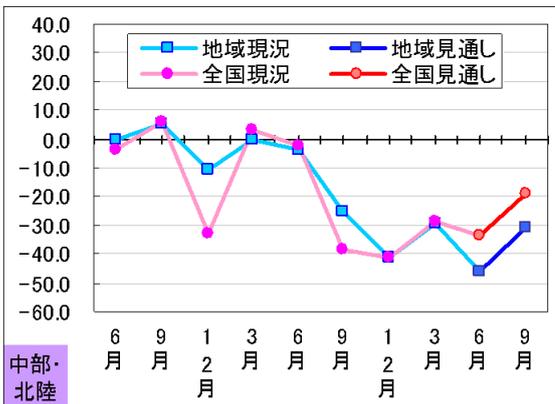
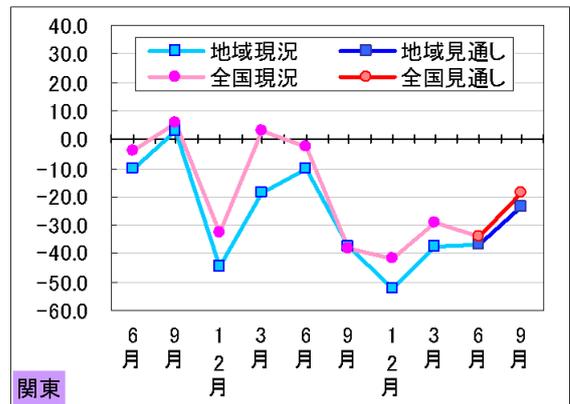
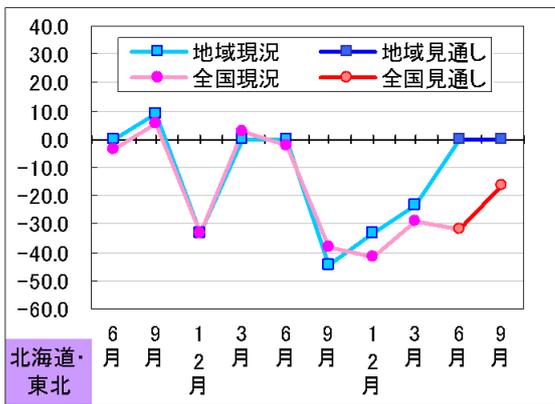
■ 現況は「北海道・東北」を除きマイナス圏、見通しは数値改善地域多い

現況のDI値は「北海道・東北」のプラスマイナス0.0を除き全てマイナス圏で推移。マイナス26.3(「中国・四国・九州・沖縄」)からマイナス46.2(「中部・北陸」)と低い水準となっている。

見通し(3カ月後)については、「北海道・東北」のみ現状維持となっており、その他地域では現況より数値改善となっている。数値の最高は「北海道・東北」のプラスマイナス0.0、最低は「中部・北陸」のマイナス30.8。

<地域別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。北海道・東北(5)、関東(30)、中部・北陸(13)、近畿(13)、中国・四国・九州・沖縄(19)



規模別業況

■ 徐々に数値改善の大規模、見通しではプラス圏に

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 37.0 と前回のマイナス 46.4 から 9.4 ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス 54.2 と前回のマイナス 28.0 から 26.2 ポイントの悪化。大規模事業者はDI値マイナス 13.8 と前回のマイナス 17.5 から 3.7 ポイントの改善となっている。

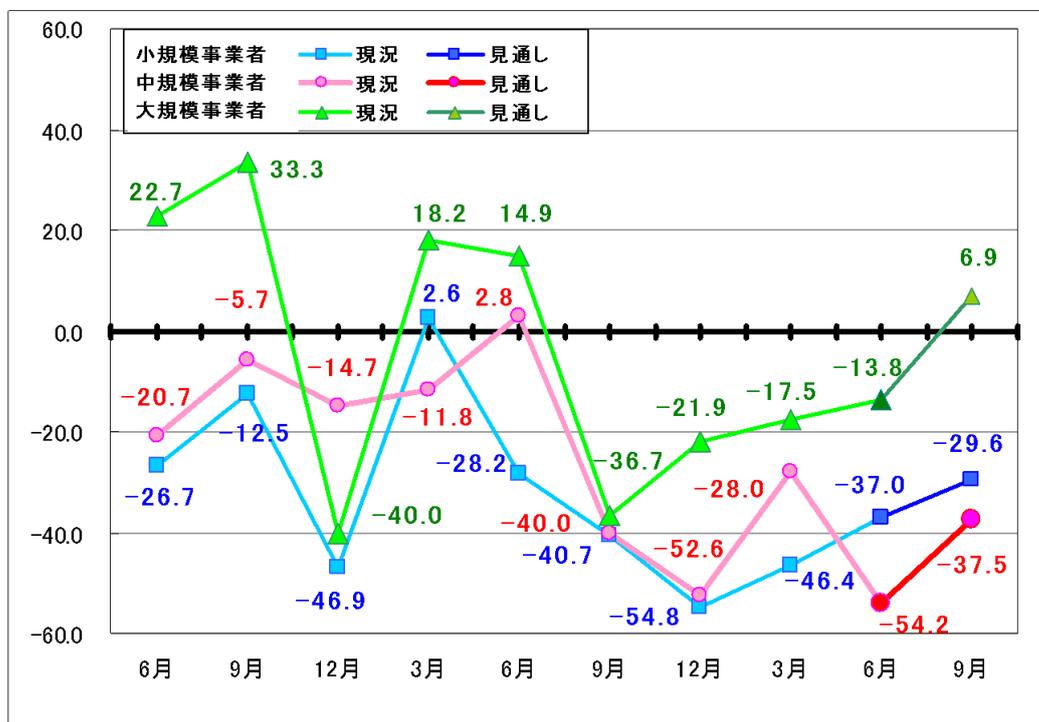
見通し(3カ月後)では、小規模事業者(マイナス 29.6)、中規模事業者(マイナス 37.5)、大規模事業者(6.9)と、それぞれ数値を改善している。

大規模事業者については、直近では 2009 年9月期のマイナス 36.7 を底に、規模別では唯一3期連続して数値を改善させてきている。2010 年9月期の見通しも、唯一プラス圏の 6.9 となっている。

<規模別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。小規模事業者(27)、中規模事業者(24)、大規模事業者(29)

<規模別：業況の推移と見通し>



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

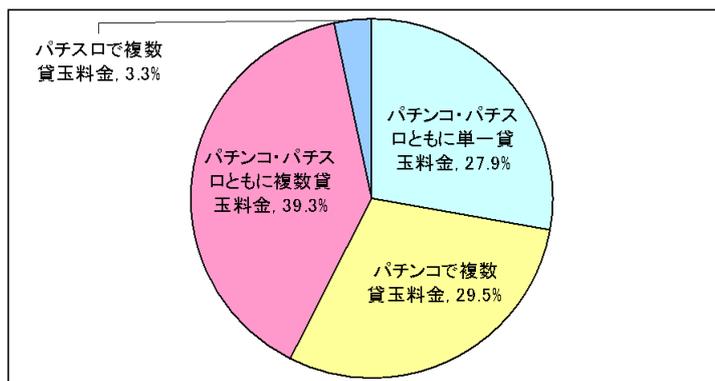
交換率と一物二価

■パチンコ・パチスロともに、単一貸玉料金は3割弱

代表的な店舗でのパチンコ・パチスロの貸玉料金の採用状況は、「パチンコ・パチスロともに複数貸玉料金」が 39.3%と最も多く、「パチンコで複数貸玉料金」が 29.5%で続いている。「パチスロで複数貸玉料金」の 3.3%と合わせて 72.1%と7割超で複数貸玉料金が採用されている。

「パチンコ・パチスロともに単一貸玉料金」は3割弱の 27.9%と少数派となっている。

<貸玉料金の採用状況>



<規模別貸玉料金の採用状況>

貸玉料金の採用状況	パチンコ・パチスロともに単一貸玉料金	パチンコで複数貸玉料金	パチンコ・パチスロともに複数貸玉料金	パチスロで複数貸玉料金
全体	27.9%	29.5%	39.3%	3.3%
小規模事業者	36.0%	40.0%	20.0%	4.0%
中規模事業者	36.4%	22.7%	40.9%	0.0%
大規模事業者	0.0%	21.4%	71.4%	7.1%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■複数の貸玉料金採用店の8割で交換率に開きあり

複数の貸玉料金を採用する店舗で、パチンコまたはパチスロで交換率に開きがある店舗の割合は8割を超えている。内訳は、「パチンコで開きあり」(45.5%)、「パチンコ・パチスロともに開きあり」(36.4%)、「パチスロで開きあり」(2.3%)となっている。

4円パチンコと低貸玉営業のパチンコを実施する店舗の多くで交換率に開きがあるのが現状である。

■過半数が交換率の変更を検討し、7割は高い方に揃える

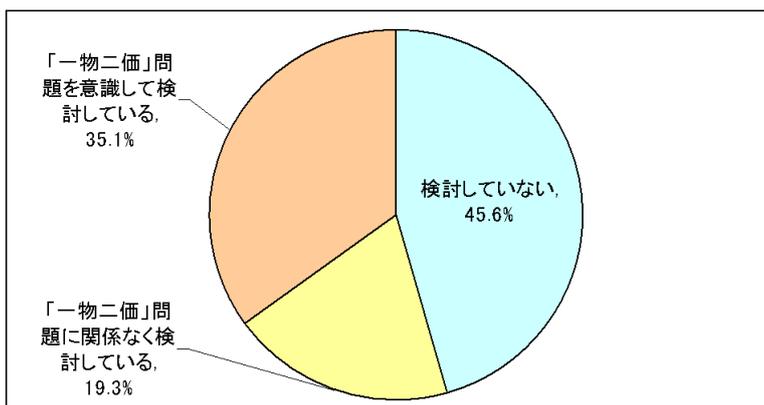
複数の貸玉料金を採用する店舗で、交換率の変更を検討しているのは、54.4%と過半数に達している。「一物二価」問題を意識して検討している割合が35.1%と、「一物二価」問題に関係なく検討している割合の19.3%より16ポイント高くなっている。

「一物二価」問題を意識して交換率の変更を検討している場合、「高い交換率に揃える」が73.7%と7割にのぼっている。「低い交換率に揃える」は15.8%、「複数貸玉料金の廃止を検討」も10.5%存在している。

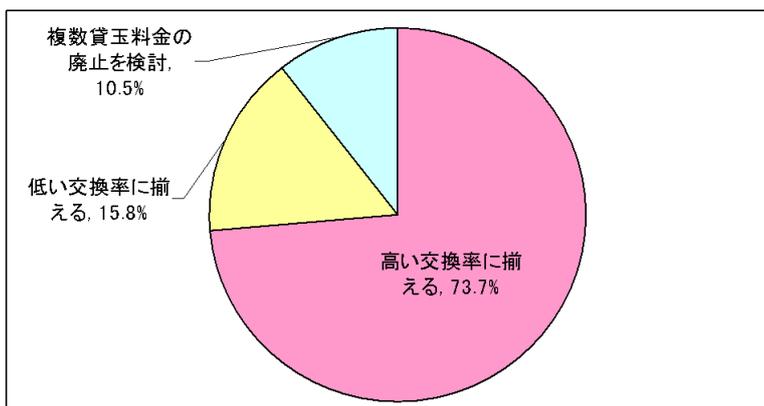
<貸玉料金採用状況別交換率の開き>

貸玉料金採用状況別交換率の開き	パチンコ・パチスロともに開きなし	パチンコで開きあり	パチンコ・パチスロともに開きあり	パチスロで開きあり
複数の貸玉料金採用 計	15.9%	45.5%	36.4%	2.3%
パチンコで複数貸玉料金	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
パチンコ・パチスロともに複数貸玉料金	12.5%	8.3%	79.2%	0.0%
パチスロで複数貸玉料金	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

<交換率変更の検討状況>



<検討時の交換率変更内容>



2010年上半期の入替状況

■月次と年間で約8割占める入替予算

遊技機の予算、入替計画は、「月次予算を組んでいる」の42.2%と「年間予算を組んでいる」の37.5%で79.7%と約8割を占めている。「予算組みなし」が17.2%となっている。

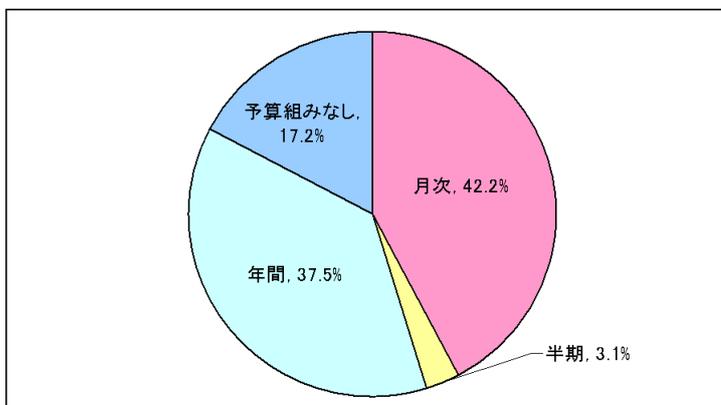
中小規模事業者では「月次予算」(小規模48.1%、中規模47.8%)が、大規模事業者では「年間予算」の割合が57.1%と、それぞれ高くなっている。

■計画予算超過が1/3を占める予算実績、規模により実績に開き

予算計画に対する実際の1-6月期の全体での入替実績予算は、「増加した」と「変わらない」がともに35.7%、「減少した」が28.6%となっている。

規模別に入替実績予算が「増加した」割合をみると、大規模事業者(57.1%)、中規模事業者(45.0%)と規模が大きくなるほど割合が高くなっている。一方で、小規模事業者では入替実績予算が「減少した」割合が45.5%と高くなっている。

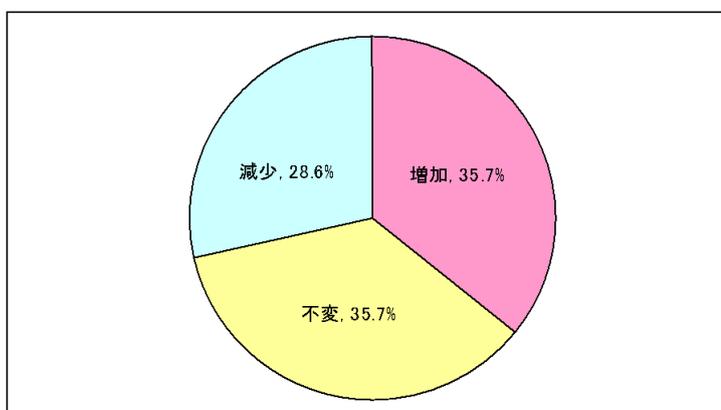
＜遊技機の入替計画、予算＞



＜規模別遊技機の入替計画、予算＞

遊技機の予算、入替計画	月次	半期	年間	予算組みなし
全体	42.2%	3.1%	37.5%	17.2%
小規模事業者	48.1%	3.7%	25.9%	22.2%
中規模事業者	47.8%	0.0%	39.1%	13.0%
大規模事業者	21.4%	7.1%	57.1%	14.3%

＜入替予算に対する予算実績＞



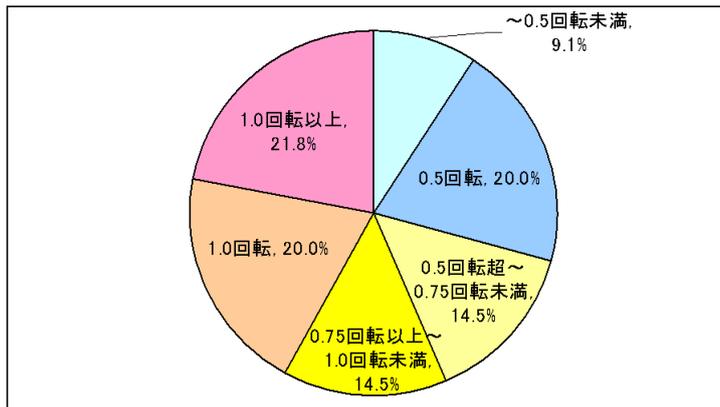
＜規模別入替予算に対する予算実績＞

入替予算に対する予算実績	増加	不変	減少
全体	35.7%	35.7%	28.6%
小規模事業者	13.6%	40.9%	45.5%
中規模事業者	45.0%	30.0%	25.0%
大規模事業者	57.1%	35.7%	7.1%

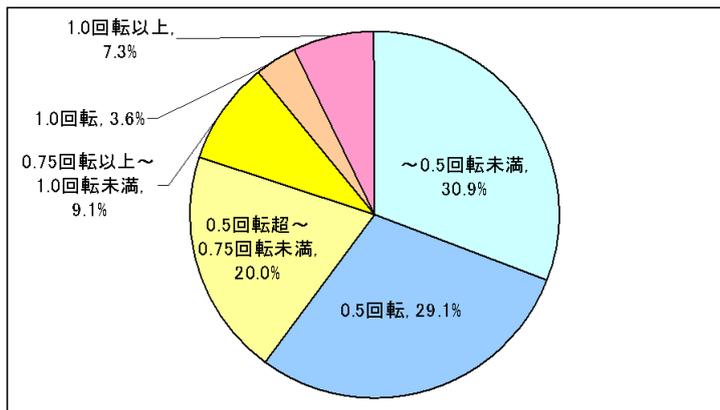
注:小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上

「参考資料」：全体でのパチンコ及びスロの入替回転率、中古機比率の分布データ

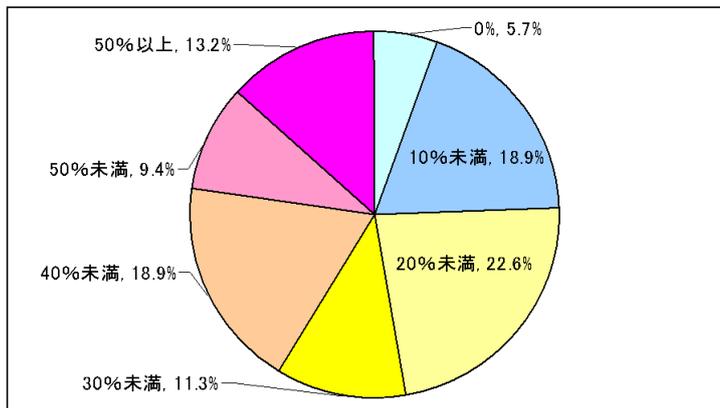
<パチンコ入替回転率（1-6月）>



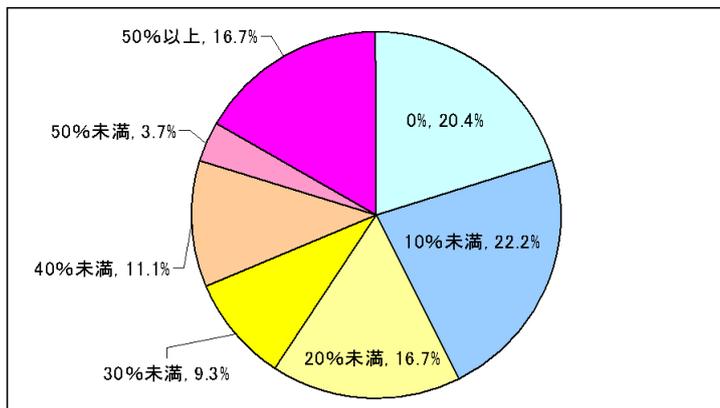
<パチスロ入替回転率（1-6月）>



<パチンコ中古機比率（1-6月）>



<パチスロ中古機比率（1-6月）>



調査結果概要 DATA

■規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-46.4	-37.0	-29.6	-28.0	-54.2	-37.5	-17.5	-13.8	6.9
2. 稼働状況（パチンコ）		-46.4	-33.3	-25.9	-32.0	-54.2	-54.2	-17.5	-17.2	3.4
3. 稼働状況（パチスロ）		-21.4	11.1	7.4	20.0	20.8	16.7	32.5	51.7	48.3
4. 資本投入気運の変化（台）		-31.0	-10.7	-14.3	-30.4	-13.0	-26.1	-28.6	-21.4	0.0
5. 資本投入機運の変化（設備）		-17.2	0.0	3.7	-8.7	9.1	18.2	0.0	-28.6	0.0
6. 営業用設備の不足感		-39.3	-14.8	-14.8	-8.0	12.5	-8.3	-2.5	0.0	10.3
7. 雇用人員の不足感		-8.0	-3.7	0.0	-4.8	0.0	0.0	-2.6	24.1	20.7

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-23.1	0.0	0.0	-37.5	-36.7	-23.3	-29.4	-46.2	-30.8
2. 稼働状況（パチンコ）		-23.1	20.0	20.0	-37.5	-43.3	-26.7	-23.5	-53.8	-38.5
3. 稼働状況（パチスロ）		15.4	-20.0	-20.0	15.6	26.7	26.7	17.6	38.5	30.8
4. 営業用設備の不足感		7.7	0.0	0.0	21.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
5. 雇用人員の不足感		7.7	-40.0	-20.0	6.3	-3.3	-3.3	-5.9	0.0	0.0
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		-27.3	-38.5	-23.1	-20.0	-26.3	-5.3			
2. 稼働状況（パチンコ）		-27.3	-23.1	-30.8	-30.0	-26.3	-15.8			
3. 稼働状況（パチスロ）		27.3	38.5	23.1	-5.0	15.8	21.1			
4. 営業用設備の不足感		18.2	15.4	7.7	15.0	-5.3	-10.5			
5. 雇用人員の不足感		0.0	-7.7	-7.7	18.2	-10.5	10.5			

■資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査	12月調査	3月調査	6月調査
資金繰り		-16.7	-15.2	-13.8	-17.9	-20.7	-7.1	-15.0	-13.0	-30.4	-16.7	-7.1	0.0
貸出態度		-27.1	-20.0	-23.4	-32.1	-35.7	-22.2	-15.8	-8.7	-26.1	-33.3	-7.1	-21.4
借入金利		5.1	6.1	3.1	-3.6	6.9	0.0	15.0	8.7	4.3	9.1	0.0	7.1

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上



**Entertainment
Business
Institute**

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353